

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年8月1日～2024年7月31日)



鳥羽建設株式会社



発行日:2024年11月10日

発行責任者: 中谷 真志

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

鳥羽建設株式会社

代表取締役 中川 正和

所在地

本社 〒528-0067 滋賀県甲賀市水口町山3858番地281

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者: 中谷 真志

連絡担当者 : 谷口 純子

連絡先: TEL 0748-63-4743

:Email taniguchi@tobakensetsu.jp

事業活動の内容(認証・登録範囲)

土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、塗装、水道施設工事業

建設業の許可

特定建設業 滋賀県知事 許可 第31195号

事業の規模【事業年度 8月1日～7月31日】

売上高 685 百万円／19期(2023年)

工事件数 13 件／19期(2023年)

全従業員 16 名(2023年7月1日現在)

* 当社の決算期間は8月1日から翌年7月31日です

事業組織

面積: m ²	本社
事務所床面積	180
倉庫床面積	148
駐車場面積	1,115
従業員 名	16
認証・登録	○

過去3年間の環境負荷の実績

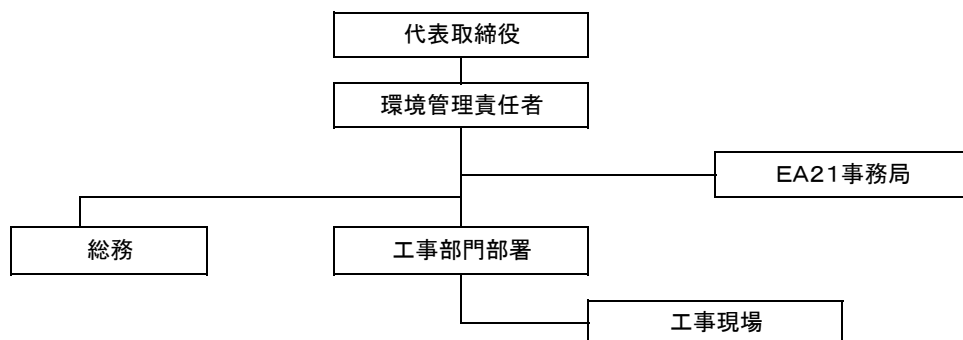
	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	93,925	91,773	83,642
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	122.9	134.0	96.3
廃棄物の排出量	t	130.7	108.9	99.1
水の使用量、排水量	m ³	87	82	82
化学物質の使用量	kg	8.5	5.4	111.6
電力調整後排出係数	kg-CO ₂ /kWh	0.418	0.351	0.351

* このレポートの環境活動期間は2023年8月1日から2024年7月31日です。

* 購入電力の排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数
0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間使用します。

* LPGは、極微量(2023年度は18kg-CO₂)で、上記二酸化炭素排出量
に含まれています。

* 化学物質の使用量は少量で又、契約上の指定製品(塗料)に含有されており削減
は困難で目標に掲げず、使用量の把握等の適正管理を行います。



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。 ⑥環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

鳥羽建設株式会社

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、SDG s の理念を基に事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、近畿圏や滋賀県で橋梁補強及び補修の建設工事を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境経営活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所や現場事務所での電気使用量及び重機車両等の燃料使用量を減量し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する建材等の化学物質の適正管理及び可能な場合削減に取り組みます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境経営活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定：2018年7月1日

改訂：2021年8月1日

代表取締役 **中川正和**

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2019年より取組んでいます。2021年の実績を基準値として、2022年から2024年までの目標を設定し、環境経営活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年8月1日から2024年7月31日までの1年間の運用実績について取りまとめました。

						次年度	中長期
環境経営方針	取組項目	年度 単位	2021年 (基準年値)	2023年（取組年）		2024年	2025年
				(目標)	(実績) 基準年比	(目標)	(目標)
事務所や現場事務所での電気使用量及び重機車両等の燃料使用量を減量し、C O ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年比達成率	100%	98%	55.9%	97%	97%
		使用量	46,069	45,148	25,731	44,687	44,687
		(kg-CO ₂)	16,170	15,847	9,032	15,685	15,685
		売上高原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	21.2	20.7	13.2	20.5	20.5
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率	100%	98%	89.5%	97%	97%
		使用量	19,396	19,008	17,358	18,814	18,814
		(kg-CO ₂)	44,998	44,098	40,270	43,648	43,648
		売上高原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	58.9	57.7	58.8	57.1	56.0
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率	100%	98%	103.8%	97%	97%
		使用量	12,492	12,242	12,961	12,117	11,875
		(kg-CO ₂)	32,230	31,585	33,441	31,263	30,637
		売上高原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	42.2	41.3	48.8	40.9	40.1
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率	100%	98%	172.1%	97%	97%
		使用量	206	202	354	199	199
		(kg-CO ₂)	512	502	881	497	497
		売上高原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	0.67	0.66	1.29	0.65	0.65
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率	100%	98%	89.0%	97%	96%
		(kg-CO ₂)	93,910	92,032	83,624	91,093	90,467
	二酸化炭素排出量/ 百万円原単位 (Kg-CO2/百万円)	目標・基準年比達成率	100%	97%	102.4%	97%	96%
		売上高原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	122.9	119.2	122.1	119.2	118.0
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：％)	目標・取組年比達成率	-	-	109.2%	-	-
		％	85%	90%	98%	1%	90%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水(単位：㎡)	目標・基準年比達成率	100%	98%	154.0%	97%	97%
		(㎡/年)	87.0	86.1	134.0	83.6	83.6
	濁水防止の100%適正監視 (単位：％)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
		％	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の100%推進 (単位：％)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
		％	100%	100%	100%	100%	100%
環境経営活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
		(以上/年)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間使用します。
- 電力使用量削減取組では、不要時の消灯、化石燃料削減取組は、エコドライブ、重機の効率的な稼働等に取り組めます。
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して、総量で把握し建設リサイクル90%を推進します。
- 水使用量については、事業所の水使用量の削減及び建設現場の水使用量削減及び濁水監視100%に取り組めます。
- 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車輛を100%使用します。
- 社会貢献活動は美知メセナ活動で地域の美化活動に参加します。
- 二酸化炭素排出量は、LPGは事務所湯茶用の使用のみで、極微量(2022年度は18kg-CO₂)のため目標は設定しません。また、このレポートの二酸化炭素排出量には加算されていません。
- 化学物質の使用量は少量で又、契約上の指定製品(塗料)に含有されており削減は困難で目標に掲げず、使用量の把握等の適正管理を行います。
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む
- 2025年の目標は、仮目標です。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所や現場事務所での電気使用量及び重機車両等の燃料使用量を減量し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	① 暖機運転・アイドリングストップ ② 環境に配慮した稼働(エコドライブ) ③ 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	工事部
	軽油使用量の削減 (単位:L)		
	灯油使用量の削減 (単位:L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 使用済みコピー用紙を再利用する。 ③ 無駄な資機材を購入しない。	工事部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水(単位:m ³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	工事部
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	① 建設現場で濁水防止の適正監視する	工事部
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の100%推進 (単位:%)	① 環境配慮施工の推進 ② 低騒音・低振動型重機の使用 ③ 排ガス規制適合車の使用	工事部
環境経営活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位:回)	① 美知メセナ活動や地域の清掃活動に参加する。	事務

取組の紹介

- 「美知メセナ活動」とは滋賀県と協定を締結して、県道等の清掃活動をボランティアで行う制度です。
- 滋賀県主催の「びわ湖環境の日一斉清掃」や甲賀市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。



5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価欄：○目標達成 △目標値未達成（105%以内） ×目標未達成 リサイクル率を除く

環境経営方針	取組項目	年度	2023年（取組年）		評価	取組の評価
			（目標）	（実績） 基準年比		
事務所や現場事務所での電気使用量及び重機車両等の燃料使用量を減量し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 （kWh）	目標・基準年比達成率	98%	55.9%	○	電力使用の内訳を比較すると事務所の電力使用量は基準年比とほぼ変わらずに実施できていた。現場の電力は従業員に活動内容を周知させた事もあり基準年比42%減となった。
		使用量	45,148	25,731		
		（kg-CO ₂ ）	15,847	9,032		
		売上高原単位 （kg-CO ₂ /百万円）	20.7	13.2		
	ガソリン使用量の削減 （単位：L）	目標・基準年比達成率	98%	89.5%	○	全体的に電力の使用量が基準年より下回りほぼ達成となっている。軽油等においては基準年より使用量が上回り未達となった。今後全体的に使用量が増加する原因を追求します。工事場所や工事内容などによって増減するが、建設機械や工事車両乗り合わせ、アイドリングストップやエコドライブなど今後も継続して取り組んで行く。
		使用量	19,008	17,358		
		（kg-CO ₂ ）	44,098	40,270		
		売上高原単位 （kg-CO ₂ /百万円）	57.7	58.8		
	軽油使用量の削減 （単位：L）	目標・基準年比達成率	98%	103.8%	△	
		使用量	12,242	12,961		
		（kg-CO ₂ ）	31,585	33,441		
		売上高原単位 （kg-CO ₂ /百万円）	41.3	48.8		
	灯油使用量の削減 （単位：L）	目標・基準年比達成率	98%	172.1%	×	
		使用量	202	354		
		（kg-CO ₂ ）	502	881		
		売上高原単位 （kg-CO ₂ /百万円）	0.7	1.3		
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率	98%	89.0%	○	
		（kg-CO ₂ ）	92,032	83,624		
	二酸化炭素排出量/百万円原単位 （Kg-CO ₂ /百万円）	目標・基準年比達成率	97%	102.4%	△	
		売上高原単位 （kg-CO ₂ /百万円）	119	122		
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 （単位：％）	目標・取組年比達成率	—	109.2%	○	現場の廃棄物は分別を行い、建設リサイクルに努めた。また事務所内のごみについても分別、リサイクルを心がけた
		％	90%	98%		
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水（単位：m ³ ）	目標・取組年比達成率	98%	154.0%	×	現場使用の水が増加したことで、使用量が増えた。ただし例年通り、事務所、現場全員で節水に心がけた。
		％	86	134		
	濁水防止の100%適正監視 （単位：％）	目標・基準年比達成率	—	100%	○	現場での濁水防止の点検、監視を徹底して実施した
		（m ³ /年）	100%	100%		
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の100%推進 （単位：％）	目標・取組年比達成率	—	100%	○	低騒音、低振動型重機を使用し環境配慮施工に努めた
		％	100%	100%		
環境経営活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 （単位：回）	目標・取組年比達成率	—	100%	○	毎月、美知メナ活動を行い、環境活動の社会貢献を推進した。今後も継続する。
		（以上/年）	12	12		

次年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、車輛・重機等のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して建設リサイクル90%に取組む
- 3 水使用量の削減では使用量削減に努める。また建設現場の濁水監視100%を実施する
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車輛を100%使用する。
- 5 環境活動は美知メナ活動で地域の美化活動に参加する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出、産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
建設リサイクル法	建設廃棄物のリサイクル推進	遵守
騒音規制法	対象特定施設・工事の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設・工事の届出、規制値の遵守	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
大気汚染防止法	解体時のアスベスト事前調査	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期・簡易点検実施、記録の保存、解体時の第1種特定製品の事前調査	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
化学物質管理法（PRTR制度）	化学物質の適正管理	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年11月10日

今年度は全体的に電力等がほぼ目標達成できていたが、工事件数及び、工事規模等が年々増加傾向にあり、ガソリンや燃料関係の使用においては、遠隔地の建設現場には乗り合わせやエコドライブの周知を徹底する事とし、燃料の使用低減の策を新たに検討することが必要である。軽油使用量が目標未達であったが、建設現場での使用でやむを得ないとする。引き続き継続していけるよう従業員に周知徹底を行います。その他の目標は、ほぼ目標を達成しており従業員の取り組みにも問題はなく現在の取り組みを強化し目標達成を目指して行きたい。又、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に変更はない。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり